

はちまんたい

No. **33**
2013年(平成25年)
10月17日

議会だより



主な内容

- 9月定例会.....02
- 決算特別委員会.....04
- 一般質問.....06

輝け、子どもたち⑭ -大更小-

第9回八幡平市小学校陸上競技会は9月11日、市総合運動公園多目的運動広場で開かれました。大更小学校(内田孝次校長、児童379人)では、4年生から6年生まで延べ112人の選手が出場し、6年男子200^mでは高橋剛君【写真】が27秒3の大会新記録で優勝しました。

Proud!
東日本大震災の復興を支援しよう
Japan

9月定例会 開催

24年度決算を認定 議案承認・可決



平成24年度八幡平市一般会計歳入歳出決算は、市議会第3回定例会（9月定例会）最終日の9月12日に賛成多数で認定されました

平成25年八幡平市議会第3回定例会（9月定例会）を8月30日から9月12日までの14日間、市議会議場で開催しました。今回の定例会では、11人が一般質問をしたほか、平成24年度八幡平市一般会計をはじめとする歳入歳出決算認定などの審議を行い、全24議案を原案のとおり可決・認定しました。ここでは、9月定例会の主な内容を紹介し（金額はそれぞれ1万円未満切り捨て）ます。

適任と決定

●人権擁護委員候補者の推選に関し意見を求めることについて
12月31日で任期が満了する高橋さよさん（63）と中村を再び、高橋末治さんの後任として、井上昭二さん（62）と東川を、人権擁護委員に推薦しようとするものです。



高橋さよさん



井上昭二さん

委員に任命しようとするものです。



遠藤健悦さん



高橋まゆみさん

●監査委員の選任に関し同意を求めることについて
10月26日で任期が満了する伊藤保己さん（60）と下町三区を、再び監査委員に選任しようとするものです。



伊藤保己さん

原案に同意

●教育委員会の委員の任命に関し同意を求めることについて
11月14日で任期が満了する遠藤健悦さん（70）と寺田と、高橋まゆみさん（48）と、高橋まゆみさんを、再び教育委員に

原案可決

●八幡平市子ども・子育て会議条例
子ども・子育て支援法に基づき、子ども・子育て支

請願1件を採択 発議案4件を可決

第3回定例会では、請願1件を審査し「採択」と決定したほか、議員発議による条例1件と意見書2件、決議1件が提出され、審議の結果、原案のとおり可決しました。

請願

●教育民生常任委員会審査
●私学教育を充実・発展させるための請願（請願者：私学助成をすすめる岩手の会会長・新妻二男）
過疎地域の私立高校に対する特別助成の増額を含め、私学

議員発議

八幡平市議会議員の議員

教育をさらに充実することを求める内容
▼結果 採択
▼本会議の審議結果 全会一致で「採択」に決定

報酬及び費用弁償等に関する条例の一部を改正する条例（提出者：議会広報特別委員長・高橋悦郎）
議会報告会に出席したときの費用弁償は支給しないことにするもの
▼本会議の審議結果 全会一致で原案可決

●私学助成の充実を求める意見書（提出者：教育民生常任委員長・田中榮司夫）
▼本会議の審議結果 全会一致で原案可決（意見書は内閣総理大臣などに提出）
●国際リニアコライダの東北地方への誘致に関する決議（提出者：高橋守議員）

国際リニアコライダー（ILC）の日本への誘致実現を強力に支援する内容
▼本会議の審議結果 全会一致で原案可決（決議書は内閣総理大臣などに送付）
●地球温暖化対策に対する地方財源の確保のための意見書（提出者：古川津好議員、高橋守議員、田中榮司夫議員）
地球温暖化対策に関し、森林の整備や保全などを促進するための地方財源を確保する仕組みの構築を求める内容
▼本会議の審議結果 全会一致で原案可決（意見書は内閣総理大臣などに提出）



あずみの湯は増改築に向けた実施設計が行われます

援事業計画の策定などを行う「八幡平市子ども・子育て会議」を設置するための条例を制定しようとするものです。

●盛岡北部行政事務組合規約及び盛岡北部行政事務組合規約の一部変更する規約の一部変更の協議に関する議決を求めることについて
来月4月からの構成市町の負担割合について、「構成市町割」を「均等割」15%にしようとするものです。

●平成25年度八幡平市一般会計補正予算（第3号）
歳入、歳出それぞれ4億3411万円を増額するものです。主な歳出は次のとおりです。

- ▼あずみの湯増改築等工事 実施設計業務委託料 633万円
 - ▼住宅リフォーム支援事業助成費 1000万円
 - ▼安代小学校プール改修工事 2184万円
 - 問 安代小学校プール改修工事の内容を伺います。
 - 答 積雪により上屋のシートが裂けたことでゆがんだ鉄骨を撤去するものです。
 - 問 コミュニティセンター化に対する市の指導はどうなっていますか。
 - 答 地域担当職員制度を設けるなど、地域の皆さんと協議しながら進めます。
- ※今回の定例会では、4特別会計と1事業会計の補正予算も原案のとおり可決しました。

平成25年八幡平市議会第3回定例会 賛否の分かれた議案の採決結果一覧

議員名	議案名	
	議案第16号 平成24年度八幡平市一般会計歳入歳出決算認定	議案第20号 平成24年度八幡平市国民健康保険西根病院事業会計決算認定
1 立花 安文	○	○
2 大森 力男	○	○
3 渡辺 義光	○	○
4 工藤 剛	○	○
5 渡邊 正	○	○
6 高橋喜代春	○	○
7 遠藤 公雄	○	○
8 古川 津好	○	○
9 小野寺昭一	○	○
10 田村 孝	○	○
11 田中榮司夫	○	○
12 高橋 守	○	○
13 伊藤 一彦	○	○
14 高橋 悦郎	●	●
15 小笠原壽男	○	○
16 関 善次郎	○	○
17 三浦 侃	○	○
18 松浦 博幸	○	○
19 大和田順一	○	○
20 高橋 光幸	○	○
21 米田 定男	●	●
22 北口 和男	○	○
23 工藤 直道	○	○

※○=賛成、●=反対。
瀬川健則議長は採決には加わりません。

一般会計歳出総額は189億6,619万円

決算特別委員会（高橋守委員長、北口和男副委員長）を9月5、6、9、10日に市議会議場で開催しました。同委員会は、瀬川健則議長と議会選出監査委員の遠藤公雄議員を除く議員22人で構成。平成24年度一般会計決算のほか、6特別会計、2企業会計を審査し、全て原案のとおり認定することに決定しました（9月12日の本会議で一般会計と国民健康保険西根病院事業会計は賛成多数、その他の会計は全会一致で認定）。ここでは、決算特別委員会の主な質疑などを紹介します。

平成24年度決算



決算特別委員会（9月10日）

一般会計歳入

問 税金滞納の収納対策上の個人情報取り扱いがどのようになっていますか。
答 税の個人情報、外部には公表しないことになっています。

問 行旅死亡人費用実費弁償の内容について伺います。
答 身元が判明しなかった遺体を、県に代わり火葬から納骨までに要した費用が補填されたものです。

一般会計歳出

総務費

問 ホームページの入札結果は、建設関係だけではなく、業務委託や随意契約のものも公表するべきではないですか。
答 26年度から全ての契約を公開するよう調整します。

問 防犯灯設置の補助金は、今後どのようになりますか。
答 来年4月からのコミュニケーションセンター化に向けた協働のまちづくり交付金の中で補助する予定です。

問 住民基本台帳カードの有効な利用方法を考えていますか。
答 生ごみの減量化に向けて、何か取り組みなどを計画していますか。

問 一戸町の発酵分解酵素を使った処理への取り組みを参考にして検討します。

答 市の累計発行枚数は7月末現在、783枚です。今後、国で導入される個人番号（マイナンバー）制度も視野に入れながら検討していきます。

問 JR花輪線北森駅の駅名変更をどのように考えていますか。
答 地元住民からの声があれば、JRに要望していきたいと思っています。

問 障害者の就労支援で、賃金やサービスの充実についてどのように考えますか。
答 雇用する会社の経営面まで把握できていません。今後、意見交換などで改善できるものから進めます。

民生費

問 小学校卒業までの医療費無料化を中学校卒業まで拡大できませんか。
答 市では、全体的に取り組むよう要望しています。

問 8月末で、23地域のプランが作成され、市内全域で策定されています。
問 今年のリンドウの出荷は、天候不順もあり一番需要があるお盆の出荷量が激減しましたが、対策をどのように考えていますか。
答 お盆に合わせてどんな天候でも安定して出荷できる品種があり、生産者からの要望も一番多いですが、この苗が不足しているのが現状です。昨年同様種取りが始まったところですので、今後生産者に十分供給できるよう努めます。

問 農地プランの現在の作成状況を伺います。
答 8月末で、23地域のプランが作成され、市内全域で策定されています。

問 遊休農地対策事業について、集落営農組織にどのような助成が行われましたか。
答 集落営農組織が遊休農地を解消した土地について、10アール当たり1万円を助成しました。

問 子宮頸がんワクチンの副作用の周知などはどのように取り組んでいますか。
答 副作用の呼び掛けを保健者と医療機関に周知しています。

問 八幡平市共通商品券の販売額と、使われた割合を伺います。
答 24年度の販売額は2億5600万円、使用先は地元商店が8割、大型店が2割でした。

問 体験型観光商店推進事業の実績を伺います。
答 荒屋新町商店街が延べ665人、大更商店街は延べ202人の参加がありました。

問 企業誘致はどのように取り組んでいますか。
答 昨年度、中渡工場適地に精密関係の企業を誘致し、本年度は工場が建設されています。

問 市道北切線の改良工事はいつ頃完了しますか。
答 27年度完了を見込んでいます。

問 橋梁長寿命化修繕計画策定に向けてどのように進めていますか。
答 昨年度は市内275の橋の点検を実施しました。点検結果に基づき、修繕計画を立てていきます。

商工費

問 市道北切線の改良工事はいつ頃完了しますか。
答 27年度完了を見込んでいます。

問 橋梁長寿命化修繕計画策定に向けてどのように進めていますか。
答 昨年度は市内275の橋の点検を実施しました。点検結果に基づき、修繕計画を立てていきます。

問 市道北切線の改良工事はいつ頃完了しますか。
答 27年度完了を見込んでいます。

問 橋梁長寿命化修繕計画策定に向けてどのように進めていますか。
答 昨年度は市内275の橋の点検を実施しました。点検結果に基づき、修繕計画を立てていきます。

討論

■ 一般会計

■ 反対 高橋悦郎議員

「大更駅周辺及び隣接地域のまちづくり環境整備基本計画」の内容は、現状把握や将来把握が不適切なことを認めながら、見直す手だてをとらず、最大の課題である地権者が同意するものにならざるを得ません。地権者の同意がなければ、投資した事業費が無駄になりかねないことから、決算認定に反対します。

■ 賛成 小野寺昭一議員

起債残高の減少による将来負担比率の大幅な改善やソフト、ハード両面での施策の展開などは評価するものです。今後も地域の均衡ある発展、市民の一体感の醸成への取り組みなど、市民の負託に応える市政運営を期待し、決算認定に賛成します。

■ 反対 米田定男議員

減債積立金が企業債残高を上回る実態は、積立金の趣旨だけでなく、効率的な財政運営にも反するものです。また、余剰資金があるならば、一般会計からの出資は凍結するべきです。どちらか24年度の実施がないことから、決算認定に反対します。

問 都市計画道路大更駅前線の整備は、にぎわい創出に効果があるかマーケティング調査を実施しましたか。
答 マーケティング調査は実施していません。

■ 消防費

問 防災資機材が各消防団分団に配備されていますが、活用について自治会と共有することはできませんか。
答 地域の希望などに応え、連携を取って活用してもらうよう努めます。

■ 教育費

問 教育長が議会を欠席するときは、教育委員長が出席するべきではないですか。
答 教育委員会として出席するよう検討します。

問 教育委員会児童生徒表彰は、スポーツ部門が多く、文化部門が少ないが、表彰基準はどうなっていますか。
答 本年度、表彰基準を改正し各学校へ指導しています。今後は、文化部門の表彰者も増えてくるものと期待しています。

問 市PTA連絡協議会に対して、補助金10万円はどのように捉えていますか。

答 補助金の額だけでなく、講師の派遣など総合的に配慮して支援していきたいと考えています。

■ 特別・企業会計

■ 国民健康保険西根病院事業会計

問 企業債償還金分として一般会計からの出資金がありますが、実際に返済した企業債償還金より多いのはなぜですか。
答 過年度の繰上償還分を一般会計負担分として繰り入れたものです。

■ 総括

問 「希望郷いわて国体」実施に当たり、どの程度の予算規模を見込んでいますか。
答 5競技の実施で7億円弱を想定しています。

問 西根病院の移転新築や文化会館の建設は、市民からのアンケートを実施して進めるべきではないですか。
答 西根病院の移転新築は「西根病院あり方検討委員会」の報告を尊重し、検討の上、建設場所を決定していきます。文化会館の建設には、時間を掛けてさまざまな調査が必要と考えます。

問 「希望郷いわて国体」実施に当たり、どの程度の予算規模を見込んでいますか。
答 5競技の実施で7億円弱を想定しています。

■平成24年度各会計の決算額（金額は1万円未満を四捨五入）

会計名	収入額	支出額	
一般会計	195億2,708万円	189億6,619万円	
特別会計	国民健康保険（事業勘定）	39億9,107万円	37億1,710万円
	後期高齢者医療	2億2,895万円	2億2,682万円
	国民健康保険（診療施設勘定）	3億3,616万円	3億1,375万円
	公共下水道事業	5億5,508万円	5億1,512万円
	農業集落排水事業	7億1,630万円	6億9,567万円
	浄化槽事業	4,804万円	4,064万円
企業会計	国民健康保険西根病院事業	収益的収支 6億9,771万円 資本的収支 1,958万円	6億9,234万円 2,973万円
	水道事業	収益的収支	5億5,391万円
		資本的収支	1億1,906万円
			4億8,246万円 2億6,690万円

※西根病院・水道事業企業会計の資本的収支の不足額は、「過年度分損益勘定留保資金」などで補てんしました

各種指標が示す財政健全度

市議会第3回定例会では、24年度決算に基づく市の健全化判断比率と資金不足比率が報告され、いずれも基準を下回りました。

- ①実質赤字比率 標準財政規模に対する一般会計などの実質赤字の割合で、実質黒字であるため、該当しません。
- ②連結実質赤字比率 標準財政規模に対する特別会計など全会計の実質赤字や資金不足額の割合で、実質赤字や資金不足の会計はないため、該当しません。
- ③実質公債費比率 標準財政規模に対する地方債の償還金の割合で、12.2%（前年度比0.8ポイント減）でした（18%を超えると、新たな市債の発行に知事の許可が必要）。
- ④将来負担比率 標準財政規模に対する一般会計など将来負担すべき実質的な負債の割合で、8.1%（前年度比21.3ポイント減）でした。
- ⑤資金不足比率 水道など公営事業の資金不足額の割合で、黒字決算であるため、該当しません。



わたなべよしみつ 渡辺義光 議員

質問した事項

- 大更駅東側の開発構想計画について
- 認知症予防と回想法について
- ボランティアポイント制度について
- 鹿角街道筋一里塚について

大更駅東側開発構想の具現化

市民意見を反映させ計画策定



大更駅周辺の賑わい創出施策として駅東側開発が着実に進められていきます(大更両沼)

渡辺議員 大更駅東側の開発構想計画14事業の今後と、市道2線の整備の進行状況、国道282号西根バイパスの歩行者の安全対策について伺います。

市長 大更駅東側は、本年度東口駅前広場や幹線道路4線の土地概略設計を行っており、駅周辺の特性を生かしたまちづくりの検討と事業化を図ってまいります。市道大更中央線と山子沢線の整備は、地権者との用地契約が整い次第、工事に着工します。国道282号西根バイパスは、交通量が増

加中で、横断歩道の設置など、県や公安委員会と協議しながら歩行者の安全対策を検討します。

認知症の予防活動に回想法・音楽療法

渡辺議員 認知症予防に回想法や音楽療法の効果が大きいと考えます。市の歴史民俗資料館所蔵の昔の生活用具や民謡、盆踊りなどを回想法に取り入れ、認知症予防活動を展開してはいかがでしょうか。

市長 今後、市でも認知症高齢者の増加が予想されています。回想法や音楽療法なども活用し、認知症予防に取り組んでいきます。

渡辺議員 神奈川県藤沢市では、元気な高齢者が福祉施設などのボランティア活動に対して1時間、100円を取得するボランティアポイント制度を行っています。

て、介護保険料の軽減にもつながっています。導入してはどうでしょうか。

市長 元気な高齢者が介護ボランティアに参加することで高齢者自身の心身の健康、生きがいや介護予防につながるなど良いことですが、導入に当たっては、検討が必要と考えます。

鹿角街道の一里塚 県指定文化財登録に

渡辺議員 平成22年第3回定例会で一般質問した市指定文化財の留之沢、七時雨、荒屋、曲田一里塚についての県指定文化財申請に向けた取り組み状況はどのようになっていますか。

教育長 県教育委員会では、指定に向けた調査を終えたということです。今後、県文化財保護審議会での審議が行われることを期待しています。

※回想法は昔の生活用具や写真などを用いて若い頃の思い出を語り合いながら、脳を活性化させ認知症予防やうつ病症状を改善させようとする取り組みです。医学的にも成果が実証され「昔なつかし教室」などの回想療法が各地で行われています。

欠の山の護岸整備と落石防止

護岸整備は浅沢地区完了後に

立花議員 小屋畑地区(欠の山)の安比川の護岸工事と国道282号の落石防止工事の見通しはどのようになっていますか。

市長 安比川と国道282号は県が管理をしています。護岸工事は、現在実施している浅沢地区の河川改修が完了した後で、それまでは河道掘削などによる維持管理で対応するという予定です。落石防止工事は、定期的にパトロールで監視するなど、当分は様子を見るということです。

立花議員 安比川、JR花輪線、国道282号、落石の恐れがある崖が隙間なく並んでいる状態をどのように改善する計画ですか。

市長 平成19年の大雨災害時に県と協議したときは、安比川を直線にする要望をしましたが、多大な予算が掛かることから、原状回復

の災害復旧工事になった経緯があります。県には抜本的な災害対策を要望していきたいと考えています。

西根病院の移転と文化会館の建設

立花議員 市民感情を二分する恐れがある西根病院の

移転と文化会館建設についての見解を伺います。

市長 西根病院は早期に整備することが求められています。具体的な建設場所は交通の利便性などを考慮し決定していきます。文化会館は広く意見を聞きながら検討します。



国道282号・欠の山地点の落石現場

県からの権限移譲 現状とこれから

立花議員 県からどのくらい権限委譲されていますか。

市長 パスポートの発給事務や療育手帳の交付など、155項目の事務移譲を受けています。

立花議員 権限委譲を利用して市職員を増やす考えはありませんか。

企画総務部長 権限移譲を受けた場合の職員配置、専門性の観点から採用は慎重に検討していきます。



たちばなやすふみ 立花安文 議員

質問した事項

- 小屋畑地区(欠の山)の安比川護岸工事、落石防止工事の実施見通しについて
- 市長3期目に向けての市政について
- 権限移譲の進捗状況と今後の予定について



おがさわらひさお 小笠原寿男 議員

質問した事項

■八幡平市産業振興株の経営について

産業振興株の現状と改善対策

民間経営力を加え強化が必要

経営収支改善対策

小笠原議員 八幡平市産業振興株の24年度の営業利益は1000万円を超える赤字ですが、25年度以降の経営改善としてどのような対策を講じていますか。

市長 指摘のとおり24年度は営業利益は赤字でしたが、東京電力からの原発事故による賠償金で、純利益は約86万円です。経費削減に努め、売り上げを伸ばすことを検討しなければならぬと認識しています。本年度は、市産業振興株売り上げ向上実施計画提案要領を定めるとともに、業務改善案を作成し、増益のための職場改善を図っています。

経営検討委員会

小笠原議員 第三セクターの経営は、純粋な利益追求に限らない場合が多いと考えます。役員会や第三セクター等経営検討委員会、どのような協議や検討がされているのですか。

市長 平成23年8月の第三セクター等経営検討委員会報告書で出された「事業間連携で新たな経営を構築し、新規の顧客を獲得するための検討を進めること」に向けて改善に取り組みます。

小笠原議員 今後、経営検討委員会に市内の経営者を入れ、改善提言を求めたらどうでしょうか。

産業部長 産業振興株の経営改善の有効な手段として、今後検討します。

ヤマブドウ製品販売

小笠原議員 本年度のヤマブドウ販売事業などの進め方を伺います。

市長 今後は、民間の増資による市の持ち株比率の引き下げや、民間の経営力を入れた経営強化が必要と考えています。

小笠原議員 6次産業化を進めるため、ヤマブドウの製品販売している産業振興株への経営支援を検討してみたいかがでしょうか。

副市長 産業振興株を取り巻く各産業への支援が、産業振興株の増益につながる方向が望ましいと考えています。

循環型農業と堆肥処理施設

畜産農家の意向調査が必要



今年3月、盛岡市玉山区に完成した盛岡市有機物資源活用施設「ひめかみ有機センター」。肥料高騰対策として、家畜排せつ物を処理した有機肥料の生産と活用が注目されています

工藤議員 完全処理されていないままの堆肥が農地などに散布され、悪臭など環境問題が生じています。衛生面だけでなく、観光面から見ても何らかの対応が必要と考えます。牛などの排せつ物を資源化して再利用を図り、環境に配慮した農

業振興を推進するためにも循環型農業に適した堆肥センターの施設整備が重要な施策ではないでしょうか。

市長 家畜排せつ物の適正管理を行い、有機資源である堆肥の利用促進に向け、関係団体と一体となって取り組んでいきます。新たな

庁舎移転後の西根総合支所体制

工藤議員 西根地区は人口数から見ても推測されます。庁舎移転後の西根総合支所は広範囲な課に対応できる人員と体制が必要ではないでしょうか。

市長 西根総合支所は多くの市民の利用が見込まれます。行政組織機構改革案を基に、人員確保などを含めて検討を続けていきます。

工藤議員 大更駅周辺および隣接地域のまちづくり基本計画を進める中で、今後西根総合支所の位置などをどのように考えていますか。

市長 人口や交通の便を考えると、大更駅周辺への西

東大更地域活性化旧校舎の管理

根総合支所機能の整備が望ましいと考えています。財政負担などを考慮し、J・R駅の複合施設ではなく、別に施設整備を図っていききたいと考えています。

工藤議員 閉校後の旧東大更小学校校舎の利活用について地域住民と十分な話し合いを行っていますか。

市長 東大更小学校跡地活用協議会からの提言や要望に対して、市として応えられるものなどを協議しています。

工藤議員 利活用方法が決まるまで、市が責任を持って旧校舎の管理をするべきと考えています。

副市長 体育館と校庭は現在、地域で活用されている状況です。今後は校舎なども併せて検討していきます。

くどうなおみち 工藤直道 議員

質問した事項

- 堆肥処理と循環型農業の推進について
- 八幡平市行政組織機構改革と庁舎移転後の西根総合支所機能について
- 東大更地域の活性化について



きたぐち かず お 北口和男 議員

質問した事項

- 市地域防災計画推進について
- 文化財の保護活用について
- 地域づくり計画書推進について

防災器具管理・点検の充実

消防団と協議して進める

北口議員 住宅火災に対応できる消火栓と防火水槽を、今後どのように整備や管理、点検していきますか。

市長 利用地の確保を進め、充足率向上に努めるとともに、消防団と協議の上、火災発生時に使用できるような管理、点検を進めます。

北口議員 林野火災時の自然水利として、河川に緊急用車路や看板の計画的整備が必要ではないでしょうか。

市長 消防団や消防署と情報を共有しながら、消火活動に支障がないよう設置に努めます。

無形民俗文化財の保存伝承振興策

北口議員 市指定無形民俗文化財の保存、伝承活動や広域的発表の場など今後の振興策を伺います。

教育長 現在指定19団体のうち、3つは実質的な活動を休止している状況です。今後も保存や伝承活動に対する支援を継続していくとともに、発表の場として、市芸術祭などで成果を披露してもらいたいと思います。

北口議員 各保存団体の連絡調整のために協議会を設

立し、指導する考えはありますか。

教育長 保存団体が一堂に会する協議会の必要性はありますが、自主的な組織化が望ましいと考えます。

北口議員 田代平高原にある一本桜は、保存対策を早急にしないと枯れてしまうという声があります。市で対策が必要ではないでしょうか。

市長 観光資源の一つでもあることから、対策を施したいと考えます。所有者と協議の上、今後検討していきます。



市民だけでなく観光客からも愛されている田代平高原の一本桜ですが、樹齢を重ねていることから保存対策が必要です

地域づくり計画どのように生かす

北口議員 地域振興協議会で作成した地域づくり計画書をどのように生かし、地域活性化や市政の均衡ある発展につなげていきますか。

市長 計画に基づき、住民がやるべきこと、行政がやるべきこと、協働してやるべきことなど、それぞれの役割を分担しながら、お互い知恵を出し合い、協力してまちづくりを進めていきたいと考えています。

国道迂回路の市道どう確保

県代行による道路整備を要望

大森議員 国道282号は、緊急時に臨時交通規制をして、市道鴨志田線などを迂回路として使用しています。市道鴨志田線の県代行事業による整備の要望内容を伺います。

市長 市道鴨志田線が国道282号と並走し、迂回路の機能を持つていることや、国道282号の荒屋新町地区が住宅や商店が密集しているため、改良整備が難しい状況であることから、冬期間の交通渋滞の緩和と地域生活の安全な道路確保のために、市道鴨志田線の未整備区間を財政負担の少ない県代行事業で整備するよう要望しています。

大森議員 高速道路が通行止めになると大渋滞が発生し、車などが国道に出られない現象が起きていますが、抜本的な解決策の考えはありますか。

市長 毎年11月に、秋田県の関係者も含めた連絡調整会議を開催して情報共有をしています。また、県では臨時規制方法について、市の考え方を聞きながら実効性のある対策を実施したいということですが。

自助・互助・公助で進める商店づくり

大森議員 国内の商店数は昭和55年の約70万店から、平成19年には約43万店まで減少しています。八幡平市はどのような状況ですか。

市長 昭和57年から平成24年までの間に226店舗、約42%減少しています。

大森議員 「自助・互助・公助」で、自立できる商店街を目指すべきだと思えます。

市長 商店個々がアイデアに富んだ事業を展開できるような支援していきます。

大森議員 まちづくりには人づくりが重要です。まちが人を育て、育てられた人がまちをつくるサイクルが必要ではないでしょうか。

市長 産業の継続には人材育成が最も重要と考えます。特に、後継者の育成に力を入れていきます。

大森議員 大更駅周辺のまちづくり計画に合わせた駅前商店街の整備の考えを伺います。

市長 新たな駅前商店街を整備できるマーケティング調査を実施しながら取り組みます。

おおもり りき お 大森力男 議員

質問した事項

- 国道282号関連の臨時規制などについて
- 商店街の振興について



市道と交差し、大渋滞が起きる国道282号 安代インターチェンジ付近



せきぜんじろう 議員 関善次郎

質問した事項

- 災害後の災害防止策について
- 快適に楽しめる観光地整備について

なだれ 国道佐比内地区に雪崩防止策

交通障害ないように実施を要望

議員 国道282号の佐比内地区で、春に雪崩が発生し、車両やJR花輪線が一時通行止めとなりました。今後の防止策はどのように検討されていますか。

市長 県では、雪崩による交通障害が起きないようにトンネル工法によるルート変更計画を進めています。当面は、道路パトロールを強化していくということです。

議員 県の計画では、トンネル内に歩道を設置せず、現在の国道を歩道として使用するようです。通行者の安全のためにも、トンネル工事だけではなく雪崩防止策を要望できませんか。

建設部長 十分危険のないように実施してもらおうよう要望したいと思います。

兄畑の氣比風穴 落石防止策を

議員 兄畑地区の氣比風

穴のある箇所は、土砂崩れにより落石の危険があります。風穴を地域資源として活用できるようにするためにも、落石防止策が必要ではないでしょうか。

市長 崩れている土砂と上部にある岩石の撤去を行うとともに、風穴をふさがないように、のり面を保護する工事で、本年度復旧する予定としています。

快適に楽しめる 観光地の整備

議員 安比高原ブナの二次林内には、散策をする観光客や子どもたちの体験学習など、1日に大型バスが何台も来ることがありますが、二次林入り口付近には迂回する場所がなく、運転手は苦労しているという話を聞きます。大型バス駐車場兼迂回箇所を設置するべきではないでしょうか。



日本森林浴の森100選に選ばれ、散策をする観光客や体験学習を行う子どもたちが訪れる安比高原ブナの二次林

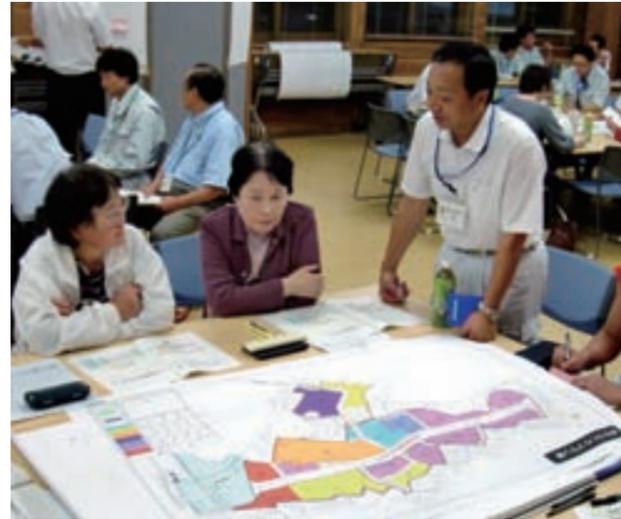
市長 岩手北部森林管理署からは、貯木場に整備した空地を砂利敷きなど、現状復旧できる状態での使用であれば貸し付けできると確認しています。今後、正式な協議を進めます。

議員 ブナの二次林内では、携帯電話が使えないところがあります。万が一に備え、携帯電話会社と協議し、使用できるようにしてはどうでしょうか。

市長 観光客のうち、どの程度の人が必要としているかを判断し、通信業者や岩手北部森林管理署と協議を進めて検討していきます。

者が事業を執行するに当たって、十分な業務遂行能力があるとともに、誠実に業務を果たす意志があると認められる場合が前提です。しかし、この業者の実績を見れば、随意契約どころか指名競争入札でも、指名業者の対象にならないと思います。

市長 大更駅周辺のまちづくり計画は、八幡平市にとって大事な事業です。これまでの業者に計画策定をお願いして、そのまま事業を実施するような形は絶対に避けなければなりません。議会で指摘された事項についても、一つ一つ業者と議論を交わし、内容を訂正して計画書を再配布ということも検討しました。それらを踏まえた上で、実施計画を進めていかなければだめだという認識で協議をしています。



第3回都市計画道路大更駅前線地権者会(9月18日)

議員 前回までは、主に「大更駅周辺及び隣接地域のまちづくり環境整備計画」の内容について質問しました。そして、現況把握など、極めてずさんであると指摘しました。今回は、当局自身の対応について伺います。

前回の議会では、この事業の費用135億円という膨大な金額について「一切想定していない」という回答でした。しかし、事業費は事業計画とセットであり、計画は市が策定した計画です。明らかに矛盾ではない

でしょうか。それとも、業者には、事業費用はいくら掛かって良いとして計画策定を委託したのですか。

副市長 135億円という金額は、事業を精査しない段階で出てきたものです。精査して120億円になるのか、極端に言えば200億円になるのかは、一つ一つの実施計画の中で検討していくこととなります。

議員 ということは、135億円を否定する根拠はないということであり、135億円もありうるということではないですか。基本計画という性格を踏まえても、「135億円という金額は想定していない」という前回の回答とは違うこととなります。

また、都市計画道路大更駅前線調査設計検討業務委託の随意契約について言えば、あくまでもその委託業

者が事業を執行するに当たって、十分な業務遂行能力があるとともに、誠実に業務を果たす意志があると認められる場合が前提です。しかし、この業者の実績を見れば、随意契約どころか指名競争入札でも、指名業者の対象にならないと思います。

市長 大更駅周辺のまちづくり計画は、八幡平市にとって大事な事業です。これまでの業者に計画策定をお願いして、そのまま事業を実施するような形は絶対に避けなければなりません。議会で指摘された事項についても、一つ一つ業者と議論を交わし、内容を訂正して計画書を再配布ということも検討しました。それらを踏まえた上で、実施計画を進めていかなければだめだという認識で協議をしています。

実施計画で検討することに

事業費135億円の可能性



まいたさだお 議員 米田定男

質問した事項

- 「大更駅周辺まちづくり計画」について



みうら ただし 議員

質問した事項

- 3期目に向けての市政について
- 過疎債の利用について

資源エネルギー今後の進め方

発電事業開始へ支援していく

三浦議員 将来の資源エネルギーについて、今後どのように進めていこうとしますか。

市長 松尾八幡平地域と安比地域で地熱発電の開発が進められているほか、安比地域で木質バイオマス発電

の開発が予定されています。市では、これら民間事業者が発電事業を開始できるよう支援していきます。



5月29日に行われた松尾八幡平地域地熱資源開発調査事業の開杭式と安全祈願祭。今後、出力7000kW級の発電設備を建設し、平成28年の送電開始を目指しています

三浦議員 平成17年第1回定例会の所信表明で述べたとおり、2期8年の市政は花を咲かせ、実をつけたのか伺います。また、3期目に向けての新しい目玉施策はありますか。

市長 市の将来像「農と輝の大地」は、確実に八幡平市のイメージとして定着してきていると思います。実をつけたかは、合併後10年の検証をした上で評価するものと考えます。3期目に向けての新しい目玉施策は、次期総合計画で具体的に構築していきます。

老朽施設解体に条件付き過疎債を

三浦議員 老朽化による公共施設の解体をどのように考えていますか。

市長 公共施設を計画的かつ効率的に新設、運用、管理、更新などを行うため、公共施設マネジメント計画の策定に向けて検討を行います。また、国では老朽化した公共施設の解体財源として、条件付きで過疎債の発行を認める方針が示されたところですので、有用な制度となるよう国に要望していきます。

三浦議員 過疎債のソフト事業の対象に、高齢者の保健と福祉の向上、増進とあります。地価の高い都市部の福祉施設を八幡平市へ移住促進し、過疎地の自立と雇用の拡大につなげることはできないでしょうか。

市長 定住促進と雇用拡大には、創意工夫を凝らし、先進的な事業を展開しなければなりません。これらに資するアイデアとして、今後の参考とします。

学校適正配置の運営対策

地域ぐるみの教育活動を図る



いとう かずひこ 議員

質問した事項

- 学校の適正運営について

伊藤議員 八幡平市内の小学校では、今後入学児童が1桁やゼロの学校が出てくると推計されています。小規模校には、集団の中で多様な考え方に触れる機会や学びあいの機会、切磋琢磨する機会が少ないなどの多くのデメリットが指摘されている中で、子どもが平等に生きる力を培うことができる教育を将来にわたり保障されている観点から、適正配置の学校運営をどのように考えていますか。

教育長 学校でのグループ活動や集団学習などを通じて教育活動は、基礎学力の向上を図るとともに、豊かな人間関係の構築や社会性を習得する上で重要です。しかし、学校の小規模化が進行すると、このような活動効果を得ることは難しくなります。市の将来を担う児童生徒が多様な人との関



少子化の進行により市内の小学校入学児童は減少傾向です(本年度の田頭小学校入学式。新1年生は8人でした)

わりの中で、豊かな人間性や社会性、創造性を身につけるためには、一定の人数や学級が必要と考えます。八幡平市では、少子化の進行や地形上の人口分布、地域の文化、歴史、各学校の施設などを勘案し、地域に密着したきめ細かな教育を

生かしながら、小学校が6学級、中学校は3学級を基本として学校の適正配置を進めています。

小規模校の部活動希望種目の選択

伊藤議員 小規模校であるため、中学校のクラブ活動

で希望種目の選択が阻害されています。高校進学からの選択は、他校の生徒と比べて、一からのスタートになるため、断念せざるを得ないことに対してどのような見解を持っていますか。

教育長 市内の中学校では、全ての種目の運動部が設置されているわけではなく、希望する部活動に限られ、希望する部活動に取り組むことができない生徒がいることは否定できません。生徒のニーズに応えられる選択肢がある状況が望ましいですが、希望する種目だけでなく、教育活動の一環であることも鑑み、仲間と協力することの大切さを学び、充実感や達成感を味わい、自分が輝ける場をつくっていく態度を育てていくことが重要です。また、区域外就学で選択肢を広げるのも手法の一つと考えます。

教育民生常任委員会

田中榮司夫(委員長) 渡辺義光(副委員長) 米田定男
三浦 侃 関善次郎 小笠原壽男 伊藤一彦 工藤 剛

■期日・場所 8月5日(月)=神奈川県藤沢市、6日(火)=神奈川県介護ロボット普及推進センター
■内容 高齢者福祉に関する所管事務調査



介護ロボット普及推進センター(8月6日)

神奈川県は、介護などの現場でロボットを導入するための普及推進事業を行っています。県と事業協定を結ぶ特別養護老人ホームでは、メンタルコミットロボット「パロ」やコミュニケーションパートナーロボット「パルロ」などを導入し、介護現場の中で活用していました。

◎神奈川県藤沢市
藤沢市では、介護予防の取り組みとして、元気な65歳以上の人が市内の特別養護老人ホームなどで行うボランティア活動(1日1時間)に1ポイント(100円)を与え、ポイントを現金に転換できる「いきいきパートナー事業」を行っています。
◎神奈川県介護ロボット普及推進センター
神奈川県は、介護などの現場でロボットを導入するための普及推進事業を行っています。県と事業協定を結ぶ特別養護老人ホームでは、メンタルコミットロボット「パロ」やコミュニケーションパートナーロボット「パルロ」などを導入し、介護現場の中で活用していました。

社会奉仕で介護予防 介護現場にロボット

産業建設常任委員会

古川津好(委員長) 立花安文(副委員長) 松浦博幸
高橋悦郎 田村 孝 小野寺昭一 遠藤公雄 渡邊 正

■期日・場所 8月20日(火)=山梨県甲府市、21日(水)=山梨県大月市
■内容 農業の振興、観光産業の振興に関する所管事務調査



山梨県大月市(8月21日)

山梨県大月市は、遊休農地や荒廃農地を活用し、非農業者にも農業に対する理解と農家との交流の場を提供し、農業振興と地域の活性化を図る貸付型のふれあい農園を開設しています。首都圏から近い立地条件を取り入れ、交流人口を増やしなが、地域の活性化に結び付けています。

◎山梨県甲府市
甲府市は、溪谷美「昇仙峡」や温泉地、武田信玄ゆかりの史跡が豊富であるとともに、県都としての芸術文化施設が集約されています。観光キャンペーンを数多く開催し、これらの観光資源に事業を結び付け、現地の観光資源を結び付け、現地の観光資源を増やしています。
◎山梨県大月市
山梨県大月市は、遊休農地や荒廃農地を活用し、非農業者にも農業に対する理解と農家との交流の場を提供し、農業振興と地域の活性化を図る貸付型のふれあい農園を開設しています。首都圏から近い立地条件を取り入れ、交流人口を増やしなが、地域の活性化に結び付けています。

着地型観光で活性化 ふれあい農園で交流

議会広報特別委員会

高橋悦郎(委員長) 高橋喜代春(副委員長) 小野寺昭一
古川津好 渡辺義光 立花安文

■期日・場所 6月26日(水)・粟石町
■内容 議会報告会についての所管事務調査



粟石町(6月26日)

粟石町では、議会改革の一環で、住民の皆様から広く意見、要望を聞く「住民と議会との懇談会」を25年度から本格的に実施しています。実施に当たっては、議長と副議長を除く議員18人を全ての常任委員会の委員が入るよう3班に編成し、各班に議長または副議長を加えたメンバーで地区を分担しています。懇談会では、町政に対する住民からの意見や要望を聞くことに重点を置いています。また、開催後は、意見や要望などの取りまとめを行い、議会広報に掲載するとともに、会議録と懇談会のときに回答を保留していたもので、町当局から回答を得たものをホームページに公開しています。

町民からの意見聞く 議会と住民の懇談会

高橋議員 都市計画道路大更駅前線の事業実施に当たり、地権者全員の同意がなければ、国の社会資本整備交付金の申請ができないのですか。
建設部長 地権者全員の同意が得られた時点で交付金の認可となります。
高橋議員 24年度の都市計画道路大更駅前線街路整備検討業務の報告書の中には、事業費が約17億円とありますが、間違いありませんか。
建設部長 あくまでも、全国的な平均で積算した場合のものです。

高橋議員 この大更駅前線を含めた大更駅周辺開発は、22年度から「大更駅周辺及び隣接地域のまちづくり環境整備計画」策定が始まり、25年度までに業務委託で1億円を超える事業費を掛けたいです。4年間の業務委託の契約方法と受注した業者名を伺います。
建設部長 22年度は指名競争入札を行い、23年度は業務が密接に関係することなどから22年度と同じ業者と随意契約しました。24年度には指名競争入札をしましたが、25年度は前年度の業

務内容と大きなかわりがあることなどから24年度と同じ業者と8400万円程度の随意契約をしています。いずれの受注業者も東日本総合計画(株)北東北支店です。
高橋議員 25年度に契約した業務委託の設計書では、直接人件費が約4000万円、残りの四千万円は、その他の経費など一般管理費とあります。直接人件費より、その他の経費が多いことには納得できません。一般管理費とは、具体的にどのようなものに使われるのですか。

建設課長 事務用品費や業務を行う事務職員の人件費、光熱水費など会社を維持する経費が入っていると国の基準で定められています。
高橋議員 建設課長の説明では4000万円以上も掛かる内容とは思えません。

具体的にはいくら掛かる経費か分らないのですか。
副市長 その経費の根拠を、市独自でやる能力を持ち合わせていないので、国の補助事業を導入すると、国の基準に基づいた業務委託を発注せざるを得ません。

市独自には持っていない

まちづくり委託費の根拠



たかはし えつろう
高橋悦郎 議員

質問した事項

■「都市計画道路大更駅前線事業計画」について



都市計画道路大更駅前線が計画されている路線(大更上町)

議会の動き (8月1日から10月7日まで)

8月

- ▶ 5日 教育民生常任委員会所管事務調査(～6日)
- ▶ 6日 東京都瑞穂町議会議員行政視察来庁(～7日)
- ▶ 9日 岩手県選出国會議員等に対する実行運動
産業建設常任委員会協議会
- ▶ 12日 会派代表者会議
- ▶ 20日 産業建設常任委員会所管事務調査(～21日)
- ▶ 23日 議会運営委員会
- ▶ 30日 市議会第3回定例会(～9月12日)
市政調査会
議員全員協議会
議会広報特別委員会

9月

- ▶ 3日 教育民生常任委員会

産業建設常任委員会

- ▶ 4日 総務常任委員会
 - ▶ 5日 決算特別委員会
 - ▶ 6日 決算特別委員会
議会運営委員会
 - ▶ 9日 決算特別委員会
総務常任委員会
産業建設常任委員会
 - ▶ 10日 決算特別委員会
議会運営委員会
 - ▶ 19日 議会広報特別委員会
 - ▶ 20日 議員全員協議会現地調査
 - ▶ 26日 議会運営委員会
- ## 10月
- ▶ 3日 市議会第2回臨時会
総務常任委員会
 - ▶ 7日 議会広報特別委員会

12月定例会の日程(予定)

期日	内容
12月5日(木)	議案上程 ほか
12月6日(金)	一般質問
12月7日(土)	休 会
12月8日(日)	休 会
12月9日(月)	一般質問
12月10日(火)	一般質問
12月11日(水)	議案審議
12月12日(木)	休 会
12月13日(金)	請願・発議案審議 ほか

※詳しい日程は決まり次第、市議会ホームページに掲載します。

傍聴を希望される人は、議会開会日当日、市役所3階・議会事務局にお越しください。詳しくは、議会事務局(☎76-2111、内線1321～1323)まで。

平成25年第3回定例会傍聴者数

31人

クイズ

問 ○の中には、どんな数字(文字)が入るでしょう？

市の医療費無料化は○学校卒業まで

応募方法

はがき、FAX、Eメールに「答え、住所、氏名(ふりがな)、年齢、議会だよりを読んだご感想、市議会へのご意見・ご要望など」を必ず記入して応募ください。正解者の中から抽選で**10人**に八幡平市共通商品券1,000円分をお贈りします。
※お寄せいただいた個人情報は、本目的以外には使用しません。

あて先

〒028-7192(住所不要) 八幡平市議会事務局 議会だより 係
FAX: 0195-76-2980
Eメール: gikai@city.hachimantai.lg.jp

応募期限

平成25年12月2日(月)(当日消印有効)

前回(No.32)の正解 5(カ所)

応募者 19人 正解者 19人
当選者 工藤優子さん(田頭)、佐藤萌々さん(打田内)、佐々木良子さん(松尾)、立柳奈穂子さん(野駄)、伊藤友美さん(田頭)、柴田恵利子さん(鹿角市)、工藤圭子さん(田頭)、渡辺二美代さん(平笠)、小田島トシ子さん(吹田)、遠藤ミエ子さん(西根寺田)

平

日は仕事があるため、傍聴したことがありません。夜や土日に議会を開催してはいかがでしょうか。(大更・57歳男性)

市

役所の中に、公共職業安定所の窓口を作ってほしいです。(大更・24歳女性)

イ

インフルエンザの予防接種の助成があります。市民全員とはいかないでしょうか。高齢者の助成は聞きませんが、それを支える若い人たちへの補助はないのでしょうか。家族全員の接種だと高額なので、なかなか受けられません。(西根寺田・48歳女性)

農

業がしたくて県外から嫁入りして、新規就農者や後継者に対してどんな支援があるのか、経営する上で必要なお金はどのくらいなのか(税金など)の説明会や相談会を開いたり、大規模農業を進めるのであれば若い人たち同士が顔を合わせる機会を増やしたりするなど、具体的な取り組みはないのでしょうか。(田頭・31歳女性)

我

が家も保育所に通う子どもがいるので、保育所の民営化の記事はとても興味深く読みました。「八幡平市はお年寄りや子どもに優しい市」と聞いていたので、数年前に引越してきた私にとっては、中学生・高校生と大きくなるまで子どもを育てるのによい環境と考えていましたが、子どもの保育園入所は他の市町村より融通の利かない部分があり困っています。子育ては金銭面だけでなく、預ける所のサポートもしていただきたいと思えます。(平笠・34歳女性)



クイズに寄せられた意見などの中からいくつかを紹介します。

議会活動レポート

9月16日に県内を直撃した大型の台風18号は、八幡平市にも大きな被害を及ぼしました。

八幡平市議会は9月20日、大雨による河川の氾濫などで決壊した護岸や道路、冠水した農地など、大きな爪痕を残した台風18号による市内の被害状況の現地調査を行いました。



松川の濁流で破壊された松川橋上流の護岸

六市議会議員協議会スポーツ交流大会は7月27日、十和田市パノラマパークゴルフ場ほかで開かれました。

交流大会には、八幡平市のほか八戸市、久慈市、二戸市、鹿角市、十和田市の6市の議員が参加。パークゴルフで汗を流すなどして、議員同士の交流を深めました。



八幡平市議会は団体の部で3位に入賞

六市議会議員協議会スポーツ交流大会

北奥羽地域発展へ情報交換



(9月23日、曲田地区祭典)

先人から 受け継ぐ(14) まがた さきはら 曲田先祓い

曲田先祓いの由来は一説には、承平3(933)年に御祖長根のふもとに祠を建立し、天下泰平や五穀豊穰を祈願した田山左近をしのび、その霊を慰めるため、永正4(1507)年に行われた祭りで、当時の左近の姿を再現して舞われたものと伝えられています。曲田地域への伝播時期は不明ですが、他の先祓いより古いのでは

ないかと言われています。

荒屋新町の秋葉神社の祭礼で、神輿行列の先頭で踊られているほか、9月23日の曲田地区祭典のときには、曲田正観世音神社境内で奉納されます。

◎保存会代表 齋藤勝雄さん

◎市指定無形民俗文化財指定日 昭和52年4月6日(旧安代町指定)



議会には、民意を反映した「意思決定」と行政の「チェック機能」を十分に発揮することを期待します。そのために、民意がどこにあるかなど、テーマを設定して議員同士が自由に討議できる場を設けてはどうでしょうか。

来年の4月から地区公民館がコミュニティセンターに移行されますが、市民生活のほとんどが歩いて行ける範囲で済ませることができるとコンパクトシティの発想を大切にし、自治公民館とコミュニティセンターが連携して活動を展開させなければならぬと思います。市職員には、積極的に自分の住む地域に入り込み、市民と一緒に地域づくりに取り組むことを希望します。

市民の意見反映と チェック機能充実を



千葉孝志さん(両沼)

議会のまど